

## 4928 ノエビアホールディングス

吉田 一幸 (ヨシダ イッコウ)

株式会社ノエビアホールディングス取締役

### 化粧品事業の好調により、3期連続で過去最高益を更新

#### ◆2017年9月期連結業績ハイライト

2017年9月期の売上高は544億73百万円(前期比32億93百万円増、6.4%増)、営業利益は99億86百万円(同22億79百万円増、29.6%増)、経常利益は102億91百万円(同24億58百万円増、31.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は70億77百万円(同20億28百万円増、40.2%増)となった。売上高・利益ともに、2017年8月1日に発表した修正予想を上回り、経常利益は創業来初の100億円超となっている。

売上高は4期連続の増収となった。主な要因としては、近年、女性の高齢化などに伴って業界全体で高級基礎化粧品のニーズが高まっており、当社においても高級基礎化粧品が前期を上回った。

セルフ化粧品は、「なめらか本舗」、「エクセル」、「ノブ」を牽引役として2ケタ成長を続けており、当期も前期を大幅に上回った。営業利益は3期連続の増益となり、過去最高益を更新した。中期経営計画では、2019年9月期において100億円を目標に掲げていたが、当期でほぼ達成している。売上増に加え、販管費の効率化を図ったことが要因である。

増減の内訳は、増収効果で21億25百万円増、「南天のど飴」自主回収の影響がなくなったことで5億83百万円増、諸経費の増加で4億28百万円減となっている。営業利益率は18.3%、販管費率は47.3%となり、ROEは前期の9.2%から12.3%に上昇した。

B/Sの状況としては、現金及び預金が404億24百万円(前期比24億64百万円増)となった。ただし、現預金残高から長期預り保証金を差し引いた正味現金預金残高は261億円(前期比29億円増)となる。固定資産はトータルで前期比2億9百万円増となったが、有形固定資産は8億14百万円減少しており、設備投資の減少、一部不動産の売却などによる。純資産合計は593億65百万円、自己資本比率は63.2%となった。設備投資は14億97百万円(同10億9百万円減)、減価償却費は18億45百万円(同1億91百万円増)となった。

#### ◆セグメント別状況

化粧品事業については、売上高が391億97百万円(前期比31億65百万円増、8.8%増)、セグメント利益が110億2百万円(同14億65百万円増、15.4%増)となった。カウンセリング化粧品では、新商品のエイジングケア美容液「エンリッチ 33」および高級基礎化粧品シリーズが好調であった。また、「ノエビア ビューティスタジオ」の質の向上と店舗数の増加も寄与している。セルフ化粧品には、「なめらか本舗」および「エクセル」、「ニューボーン」も引き続き好調であり、配荷店舗の増加や新商品の発売、顧客層の拡大により売上増につながった。OEMについても、売上高が増加傾向にある。

医薬・食品事業については、「南天のど飴」自主回収の影響が解消し、栄養補助食品や食品ドリンクが堅調だったことから、売上高が134億88百万円(前期比2億45百万円増、1.9%増)、セグメント利益が7億45百万円(同5億75百万円増、338.0%増)となった。

その他の事業については、売上高が17億88百万円(同1億17百万円減、6.2%減)となったものの、セグメント

利益は黒字化し、1億28百万円(同1億91百万円増)となった。アパレル・ボディファッションは低調であったが、航空関連が黒字に転換している。

### ◆今後の取り込みと見通し

中期経営計画のテーマおよび5つの方針のもと、引き続き売上高、営業利益、ROEを重要な経営指標とし、グループ各事業の持続可能な経営により、節度ある成長を実現していく。

数値目標については、2019年9月期の営業利益目標に当期でほぼ到達したため、新たな目標として、2020年9月期の売上高600億円、営業利益120億円、ROE15%を設定した。2018年9月期は売上高560億円(前期比2.8%増)、営業利益107億円(同7.1%増)、ROE13%、2019年9月期は売上高580億円、営業利益115億円、ROE14%を目標とする。

今期の主な取り組みとして、化粧品事業については、カウンセリング化粧品・セルフ化粧品ともに顧客ニーズをとらえた新商品を投入し、中核事業として収益性の向上を図る。カウンセリング化粧品では、エイジングケア美容液「エンリッチ 55」を発売する。セルフ化粧品では、「なめらか本舗」および「エクセル」の新商品発売、「ノブ」の「L&W」シリーズ拡充で売上拡大を目指す。海外においては、配荷店舗の増加に取り組む。

医薬・食品事業については、「睡眠打破」シリーズのキャラクター「みんな3兄弟」を活用したプロモーションを展開する。「南天のど飴」は、2018年に発売50周年を迎えるため、企画品・新商品の発売などを予定している。

その他の事業については、航空関連事業は景気に左右されるため、引き続き慎重に対応していく。

2017年9月期の期末配当は、前期比30円増配の150円(配当性向75.1%)とし、6期連続増配となる。2018年9月期も150円(同72.8%)を予定している。

(平成29年11月14日・東京)

\* 当日の説明会資料は以下のHPアドレスから見ることができます。

[http://www.noevirholdings.co.jp/ir/account/guide/pdf/2017\\_shiryo\\_171114.pdf](http://www.noevirholdings.co.jp/ir/account/guide/pdf/2017_shiryo_171114.pdf)